

2月2日 全校朝会【節分・2月ふれあい月間】

おはようございます。

今日は、二つのことについて話します。

一つ目は、節分についてです。

節分といえば、「鬼は外、福は内」のかけ声で行う豆まきをイメージしますが、どんな意味があるのでしょうか。いろいろな説がありますが、悪いことは追いはらい、幸せがくるようにという意味で行われてきました。昔の人は、病気や不幸などの悪いことを鬼のしわざだと考えていたようです。

さて、私は、人の心の中にも鬼がいると思います。「かっとなる心」「わがままな心」「いじわるな心」「なまける心」などが心の中の鬼だと思います。節分であるこの機会に、自分の心の鬼について振り返り、「鬼は外」と自分の心の中から追いはらってほしいと思います。

二つ目は3回目の「ふれあい月間」についてです。6月、11月に続いて2月は「ふれあい月間」です。「ふれあい月間」のねらいは、自分や友達の行動について振り返り、志六小の子どもたちが、仲よく気持ちよく過ごせるようにすることです。そのために、2月も次の三つのことに気を付けて過ごしてほしいと思います。

①友達のよいところを見付ける。

友達のよいところをたくさん見付けて、友達に伝えましょう。

②友達がいやなことはしない。

友達がいやだと感じることを言ったりしたりすることはしません。もししてしまったら、素直に謝りましょう。

③友達に気持ちを伝える。

けんかをしたときや気持ちがすれ違ってしまったときには、話し合って気持ちを伝えましょう。

今回も、志六小の子どもたちが、仲よく気持ちよく過ごせるようにするために「ふれあい月間」の標語を募集します。校長室の前に、記入用紙を置きました。応募する人は記入用紙に標語を書いて、2月10日までに、私に提出してください。応募された標語の中から、先生方と相談していくつかの標語を選び、今年度2月の「ふれあい月間標語」として紹介したいと思います。たくさんの応募をお待ちしています。

これで、お話を終わります。